

全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて

19～21年度調査及び25年度調査【悉皆調査】

○ 全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮することが必要である旨、国会等で議論があったことを踏まえ、19年度～21年度の悉皆調査実施時には、実施要領において、以下のとおり定めている。25年度きめ細かい調査においても同様に規定している。

- ① 都道府県教育委員会は、個々の市町村名・学校名を明らかにした公表は行わない。
- ② 市町村教育委員会は、個々の学校名を明らかにした公表は行わない。
- ③ 各市町村の結果の公表については市町村教育委員会の判断に、各学校の結果の公表については、当該学校の判断に委ねる。
- ④ 公表にあたっては、本調査により測定できる学力は特定の一部であることや、学校の教育活動の状況や今後の改善方策等を併せて示すなど、序列化につながらない取組が必要。
- ⑤ 国は公表していないデータに関する情報公開請求について開示を行わない。教育委員会においても国の取扱いを参考に適切に対応することが必要。

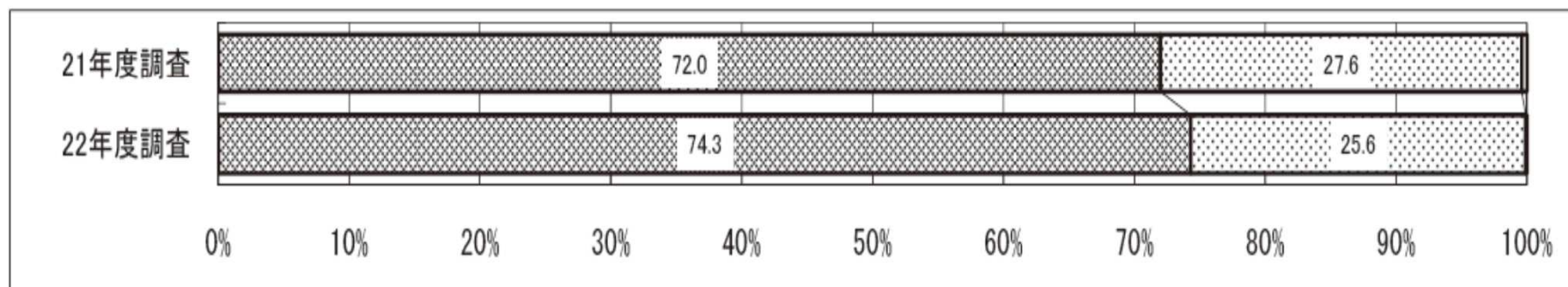
| 文部科学省 | 保有・提供する調査結果及びその取扱い | | | | |
|-----------|--------------------|--------------|--------------------------------|--------------------------|--|
| | 国全体 | 各都道府県 | 各市町村 | 各学校 | 各児童生徒 ^(*) |
| 結果提供 | 公表 | | 非公表 | | |
| 都道府県教育委員会 | — | 当該都道府県 公表 | 各市町村 市町村名、学校名を明らかにした公表は行わない | 各学校 | — |
| 市町村教育委員会 | — | — | 当該市町村 公表は市町村判断 | 各学校 学校名を明らかにした公表は行わない | 各児童生徒 ^(*) *個人の特定はできない 非公表 |
| 学校 | — | — | — | 当該学校 公表は学校判断 | 各児童生徒 本人のみ提供 |

学校における調査結果の公表・説明状況について

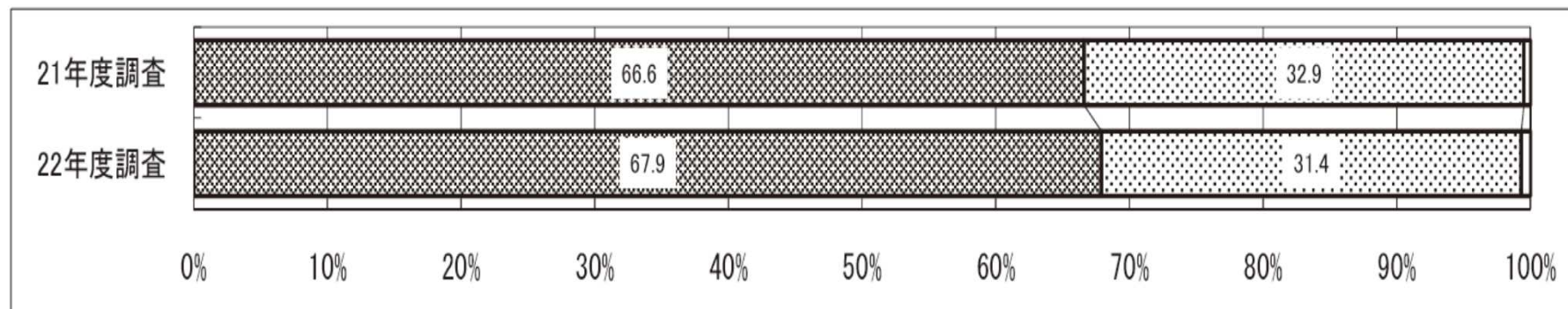
学校別の結果の公表については、従来の悉皆調査の時と同様に各学校の判断に委ねることとしているが、全国で約7割の学校が自校の結果について、公表や説明を行っており、このような取組を積極的に進めることが重要

*質問 48：平成 21 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか

【小学校】



【中学校】



はい

いいえ

その他, 無回答

学校における調査結果の公表・説明状況について

◆公表の事例（佐賀市）

【赤松小学校】(HPより一部抜粋)

**平成24年度 「全国学力・学習状況調査」・「佐賀県学習状況調査」
本校の結果の概要と今後の取り組みについて**

平成24年9月7日
佐賀市立赤松小学校

平成24年4月16日（月）と17日（火）に5年生・6年生を対象に全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査が行われました。本校の結果の概要と分析、今後の学校としての対応等についてお知らせいたします。

● 6年理科

■ 調査結果の概要

○ 理科における調査では、赤松小学校の6年生の平均正答率は70.1%で、佐賀県平均正答率の63.7%を大きく上回る結果がでました。

【理科】正答率度数分布グラフ

| 区分 (%) | 数値 | 100% | 90% | 80% | 70% | 60% | 50% | 40% | 30% | 20% | 10% | 0% |
|--------|----|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100% | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 90% | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 80% | 2 | 0.3 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 |
| 70% | 13 | 1.9 | 2.6 | 3.6 | 5.1 | 7.1 | 10.0 | 13.9 | 19.8 | 27.7 | 38.6 | 53.5 |
| 60% | 11 | 1.6 | 2.2 | 3.0 | 4.2 | 5.8 | 8.1 | 11.3 | 15.7 | 21.9 | 30.6 | 42.5 |
| 50% | 30 | 4.3 | 6.0 | 8.2 | 11.4 | 15.8 | 21.9 | 30.6 | 42.5 | 58.7 | 81.0 | 111.4 |
| 40% | 11 | 1.6 | 2.2 | 3.0 | 4.2 | 5.8 | 8.1 | 11.3 | 15.7 | 21.9 | 30.6 | 42.5 |
| 30% | 11 | 1.6 | 2.2 | 3.0 | 4.2 | 5.8 | 8.1 | 11.3 | 15.7 | 21.9 | 30.6 | 42.5 |
| 20% | 11 | 1.6 | 2.2 | 3.0 | 4.2 | 5.8 | 8.1 | 11.3 | 15.7 | 21.9 | 30.6 | 42.5 |
| 10% | 11 | 1.6 | 2.2 | 3.0 | 4.2 | 5.8 | 8.1 | 11.3 | 15.7 | 21.9 | 30.6 | 42.5 |
| 0% | 11 | 1.6 | 2.2 | 3.0 | 4.2 | 5.8 | 8.1 | 11.3 | 15.7 | 21.9 | 30.6 | 42.5 |

(2) 設問別分析

全般に県の平均を上回っています。問2(5)、問4(1)(5)は、佐賀県平均正答率が低くなっています。その中でも、問2(5)は、本校正答率が佐賀県正答率を下回っています。

【神野小学校】(HPより一部抜粋)

**平成24年度 全国学力・学習状況調査における
神野小学校の結果の分析と今後の指導について**

平成24年10月16日

文部科学省は平成24年4月16日（月）、17日（火）、全国の抽出校と希望校の小学6年生児童および中学3年生生徒を対象に、国語、算数（数学）及び理科の基礎学力と活用力をみる学力調査と、基本的な生活習慣・学習習慣をみる学習状況調査を行いました。

調査結果は、平成24年8月に全国平均正答率と都道府県別平均正答率という形で報告されました。佐賀県

④B問題（活用問題）の結果から

○ 国語B（活用）問題における学習指導要領の領域別の状況は右のグラフの通りです。

○ 「話すこと・聞くこと」の領域の正答率は、56%でした。資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表することに課題がありました。朝の時間や家庭学習の中で、複数の情報を比較したり既知の情報と関連させたりしながら資料を読み取らせる学習や、発表の中でそれらの情報をどのように引用すればよいかを考えさせる学習を取り入れていきたいと思えます。

○ 「書くこと」の領域の正答率は46%でした。特に、手紙の構成を把握し、後は伝えたいことと題語があまりない。

③ 神野小における今後の学習指導改善の方策

○ 今回の調査結果は子どもたちの一面を調査したものです。結果をよくふまえて、今後の神野小学校の子どもたち一人一人のよりよい成長につなげていきたいと考えています。そのための具的施策として次のようなことに取り組んでいます。

(1) 学校では以下の視点に立って指導を行っています。

①諸検査の結果を分析し、その対応を図ります。

単元ごとの業者テスト等、学年で達成状況を毎学期比較検討し、指導の現状と課題を確認し、具体的な授業改善策を講じます。5月と12月に児童の「算数科に対する意識調査」を実施し、児童の変容から、指導の改善点を探ります。

②教師の指導力向上のため、授業の指導法改善に努めます。

校内研究ともからめ、毎日の授業を分かりやすく楽しいものにします。

年間計画も見直し、プリントや教材の開発に努めます。また、個人差にも対応し補足的な問題や発展的問題等を各学年ごとに提示したり、教室や多目的室を整備しプリント等も準備したりして、児童が意欲的に学習に取り組める環境作りもあわせて行います。

③基本的学習習慣や生活習慣を見直します。

児童の生活習慣と学力との相関関係をみるために「学習訓練部」で学びの10箇条の達成状況について、毎学期アンケートを実施します。結果についてもデータを比較し、各学年で達成状況を確認し、

「心を育む、いじめ撲滅宣言」

「体を育む、立腰タイム」